

FX風林火山



OnePiece
Project

著者: ZORO(ゾロ)
總監修: 小出万吉

プロローグ

5万円で始めるFX起業、FX風林火山の世界へようこそ！

さて、あなたの目標(今の段階では願望でしょうか?)は、
今あなたの用意した5万円を、いったい、いくらにしたいのでしょうか？

100万円でしょうか？1000万円ですか？それとも1億円？
あるいは、毎月いくらという安定収入を求める方もいらっしゃるかもしれませんね。

まあ、あなたの目標や願望がいくらでも構いません。
是非ともその目標(願望)を1日も早く、FX風林火山で実現させて下さい。

ただし、その前に、あなたにやらしてもらわなければならないことがあります。
FX風林火山の方法を実行するにあたってはもちろんのこと、
このマニュアルの本編を読み進める前に、

あなたにどうしてもやらしてもらわなければならないことがあるのです。

それは、

あなたが、今持っているFXに関する全ての知識を一旦捨てて下さい！

あなたの持っている知識や情報などは、そのほとんどすべてが、
このFX風林火山の方法を理解するにあたり、邪魔になると思われるからです。

何故、邪魔になるのかについては、これからこのプロローグで説明しますし、
FX風林火山の内容を正確に理解し、実践し、しっかりと成果が出た後ならば、

あなたの知識もいくつかは役立つものもあるかもしれませんが、

さしあたりは、一旦、頭を白紙の状態にして、余計な既成概念や偏見、情報など全て捨ててこのマニュアルの本編をお読み下さい。

そもそも、あなたのお持ちの情報は、仮に役立つはずの情報だったとしても、世間の多くのFXトレーダーたちも、たいていは既に知っている内容ではないですか？

そうして、世間の多くのFXトレーダーたちは、儲けることが出来ているのですか？

あなたは、今までにFXで儲けることが出来ていたのですか？

そうではないからこそ、今、私の話を聴こうとされているはずですよ。

世間で、FXにおいて、常識と言われていることも、私に言わせれば非常識です。世間一般に常識と言われていることに関しても、非常識としか思えないこともあります。

このFX風林火山の説明の際に、

「勝つ」ことと「負けない」ことでは、天地の差がある！ ということを言いましたが、

FXの経験者ならば、こんなFXの『常識』を聞いたことがあるのではないですか？

・ **FXの鉄則は、儲けるときは大きく、そうして、損をするときは小さく！**

あるいは、

・ **FXは、極論すれば、1勝9敗であったとしても、トータルでプラスならばよし！**

FXの入門書などを見ると、たいていこれに類似する内容が書かれています。

ですが、そんな(上記2点のような)『常識』と呼ばれるものに捕らわれているからこそ、

だからこそ、

世のFXトレーダーは、儲けることができないのです！

世のFXトレーダーは、メンタルに左右されてしまうのです！

FXは、とにかく勝たなければ、100%に限りなく近い確率で勝たねば、
特に素人は、儲けることはできやしません。

冷静になって考えてみて下さい。

私の言っていることは、ごくごく当たり前のことですので。

いいですか？よく考えればわかることなのですが、
儲けるときは大きく、損をするときは小さくというのは、

何も、FXにおける常識とか、鉄則とかではなく、

FXで儲けたい人ならば、誰でもふつうに「**思ってしまうこと**」ではないですか？

何故、そんな人としての当たり前の心理を、

わざわざ文字にして「鉄則」などと言っているのでしょうか？

そんな誰でも、当たり前に思ってしまうようにFXトレードが出来れば苦労しません。

FXトレードの経験者の方は、実際、出来やしないということを実感しているでしょう？

よって、負けトレードがあっても、トータルでプラスになるならば……などと言うことも、

現実問題として、出来ていないでしょう？

では、何故、そんな出来もしないことが、世の中では、鉄則とか常識と言われるのか？

ここで、私とその真実をお教えしましょう。

前述の2つの鉄則、常識は、**単なる詭弁**です！

もっとハッキリ言えば、自称:FXのカリスマとか、自称:FXのプロと言ってセミナーをしたり、書籍を書いていたりする人たちの、言い訳にすぎません。

要するに、そのように偉そうな講釈をたれる方々の「ノウハウ」通りにしても、負けトレードになってしまうことが多いからこそ、

あなたが儲からない理由は、儲けるときに大きく儲けていないからだ。
損をするときに欲張ってしまって、小さな損ですますことができないからだ。
負けても、1週間とか、1ヶ月とかの一定期間でトータルしたらプラスになるような、トレードをしないからだ。という、もっともらしい理由で自分の稚拙なノウハウの欠点を、

単に誤魔化しているにすぎません！

この点については、本編でも、もう少しロジカルに説明をしていますが、このような詭弁に誤魔化されているうちは、

そりゃ、メンタル的に弱くもなるでしょう。
そりゃ、強制ロスカットもされるでしょう。
そりゃ、FXで儲けることもできないでしょう。

何故なら、あなたは、『常識』とか、『鉄則』と思い込まされて、

自然の摂理に反する行動を取ろうとしているからに他なりません！

何度も言うようですが、儲けるときは大きく、損をするときは小さくというのは、常識や鉄則ではなく、人としての当たり前の心理状態のことです。

儲けるときは大きく、損をするときは小さく、ということは、要するに『**欲張れ！**』ということ。

そうではないですか？

儲けるときは大きく儲けなさいというのは、欲張りなさいと言っているに等しい。
損をするときはなるべく小さくしなさいとは、欲張りなさいと言っているに同じでしょう？

それにもかかわらず、そのようなことを言う先生たちに限って、
「FXはメンタルが重要だ！メンタルが全てだ！だから、欲張ってはならない！」

という矛盾したことを平気で言います。

欲張るための鉄則を教えておいて、欲張るなと釘を刺すのは、矛盾以外の何物でもない。
自然の摂理に反しているとしか言いようがない。

何日も個室に監禁されて食事も与えられずに空腹で死にそうな思いをしているあなたに、
その個室に美味そうな食事を差し入れして、「食うな！」と言うのと同じですよ。

そんなことが出来るのは、断食修行でもしている修行僧くらいか、
修行僧でさえも無理かもしれませんね。

その状況で、食事を食わせておいて、
「それは、あなたが欲張ったからだ！」とか、
「それは、あなたのメンタルが弱いからだ！」とか、
人間心理を無視して行動をさせておいて、それを詭弁と言わず何と言えば良いのですか？

他にも、あなたが常識だと信じ込まされていて、
実は、それが原因で、今までに損をしてきたことに気づいていないこともあるはずですよ。

とにかく、くどいようですが、
FXにおいても、勝ちが全てです。勝たなければ儲かりません。

限りなく100%に近い勝率を維持しない限り、素人はFXで勝てやしません！

このFX風林火山では、世間の常識とは随分違う内容をお伝えしています。
このマニュアルで伝えていることが世の中で1番正しいかどうかまではわかりませんが、
少なくとも、自然の摂理に反することや、矛盾したことは伝えていませんので、

あなたの頭をリセットして、冷静になって、このマニュアルをお読み下されば、
私のお伝えすること全てが、理論的に、無理のない、矛盾のない、
そうして、あなたご自身にも無理のない儲け方だということを理解して頂けるはずです。

このFX風林火山は、あなたが購入時に期待をしていた以上に、
ビッグビジネスになると思いますので、
(主婦が夫の扶養から外れないように制限して儲ける場合は別にして)
さらに期待を込めて、しっかりと、本編の一字一句逃さずすべての内容を理解して下さい。

まあ、要するに、あなたのご期待を裏切ることはずないと思いますので、
どうぞ、本編を楽しみにして読み進めて下さい。

そうして、確実に実行して、あなたはニートになることなく、墮落することなく、

是非とも幸せになって下さい。

平成23年(2011年)12月1日 ZORO記

目次

1. そもそもFX(外国為替証拠金取引)とは？	8
2. 為替相場において普遍的に変らないこととは？	13
3. 勝率を90%以上にするための方法	27
4. 勝率を限りなく100%にするための方法	38
5. FX風林火山のメリット再確認	44
6. 強制ロスカットされないための方法その1	49
7. 強制ロスカットされないための方法その2	52
8. FXで限りなく100%勝つための戦術	59
9. 資金5万円～30万円までの戦術	82
10. 資金30万円～100万円までの戦術	90
11. 資金100万円以上での戦術	97
12. 資金1000万円以上での戦術	105
13. 爆発的に稼ぐための戦術と節税	107
14. あなたの目標通りの成果を出す戦術と戦略	113

1. そもそもFX(外国為替証拠金取引)とは？

FXというものをまったく知らなかった方のために、
そして、FXの舞台になる為替市場における「普遍的に変らないこと」というものを、
つまり、FX風林火山の方法の核になる部分を理解して頂くためにも、

非常にざっくりとFXというものを説明致します。

まったくFXや為替というものに対して知識のない方にもわかるように話をしますので、
既にFXのトレードをしている方には、おもしろみのない部分も多いと思いますが、
一通りは目を通して置いて下さい。

FXというのは、一般的には、外国為替相場の変動を利用して儲ける「投資」のことです。
このマニュアルではUSドル(アメリカ合衆国のドル)と日本円の通貨ペアを推奨しますので
USドル/円を例にあげて説明致します。

わかりやすく計算しやすいように、米ドル(US\$)を1ドル100円だとしましょうか。

仮に1ドル100円のときに、あなたが1万ドルのドルを買ったとしましょう。

このために必要な資金は、100円×1万で、100万円ですね。

現在は変動相場制と言って、1ドルが何円かという数字は時々刻々と変化しますので、
1ドルが仮に110円になったとしたら、あなたの資金は、どうなっていますか？

あなたは、1万ドルを持っているので、日本円に換算すると110万円になっていますね。

では、このときに、1万ドルを売ったとしたら、どうなりますか？

売値は110万円になり、あなたは10万円の利益を得ることが出来ることとなります。

そうして、ここからが、FXというもののおもしろいところなのですが、

1ドル110円だった場合に、これから先、また1ドル100円になるとしたら、あなたは1万ドルを110万円で買って、売るときには100万円になってしまいますので、ここで10万円の損をしてしまうことになるのですが、FXのおもしろさのひとつは、

110円の時に、あなたは自分が持っていないはずのドルを売ることが出来る！

ということです。

あなたが実際に手元に1万ドルを持っていなくても、FXにおいては、110円のときに、1万ドル売ることが出来ます。つまり110万円で売れるわけですね。

何故、売ることができるのか？

それは、**売った分を後から買えば良い**からなのです。それをつじつまをあわせませす。

1ドルが100円になったときに、先に売っておいたあなたは、ここで1万ドルを買えば、必要な資金は、100万円だけですね。

ですが、売値は110万円だったわけですから、ここでも、差額の10万円が儲かる。

このような仕組みになっています。

もちろん、売り買いを上記の逆のことをすれば、10万円ずつ、計20万円の損ということになりますが、それもわかりですね。

100円のときに1万ドルの売り、売値は100万円

110円のときに1万ドルの買い、買値は110万円 この差額10万円が損ですね。

110円のときに1万ドルの買い、買値は110万円

100円のときに1万ドルの売り、売値は100万円 この差額10万円が損で、計20万円

要するに、このようにして儲けたり、損をしたりするのがFXというか為替相場での仕組みな

のですが、FXのもう1つの特徴に、レバレッジというものがあります。

(レバレッジの詳細な意味までは知る必要はありません)

現在のレバレッジの上限は、25倍(個人FX投資家の場合)ですが、
これが意味するものは、 $100万円 \div 25 = 4万円$ 、つまり、最低4万円あれば、
25倍の100万円の1万ドルを購入できるわけです。

もちろん、4万円ギリギリでは取引をさせてくれませんので、
5万円は最低でも、必要になるのですが、
簡単にレバレッジとFXについて説明をすると、上記の例で、

100円のとときに1万ドルの買い、買値は100万円 (実際に使う金額は5万円のみ)
110円のとときに1万ドルの売り、売値は110万円 つまり10万円の利益
これで資金が10万円増えて5万円が15万円になるという仕組みです。
(現実問題、このような**危険**で単純な取引はオススメ致しませんので安心して下さい)

ここまでで、わかっていただきたいことは3点です。

- ・ FXで利益が出る仕組みと、損失が出る仕組み
- ・ FXでは、先に「売る」ということをして後から「買う」ことをしても良い
- ・ レバレッジというもので、実際の資金は少なくて済む

この3点ですね。ここまでは大丈夫ですか？理解できなかつたら読み直して下さい。

FXという投資では、これらの一連の内容をすべてパソコン上で行います。

そうして、重要なことは、1万ドル買うと言っても、

あなたの手元には当然、アメリカドル1万ドルは届きません。

ですので、仮にあなたがFXをやっている、FXの上では1万ドル買っていたとしても、
あなたが、アメリカ旅行をした際に、その1万ドルは使うことが出来ません。

現金にしようと思ったら、
必ずその後に、売ることをして日本円にしなくては現金になりません。

売るということから開始した場合も同様です。
次に買わない限りは、現金化できません。

つまり、FXでは、買ったらず必ず売る。売ったらず必ず買うという行為が必要になります。

FXは外貨預金とは違いますので、買ったまま持っていては無意味です。
もちろん、スワップ金利と呼ばれる金利がつき、
これが一般の預金に比べると結構高額な金利ですが、それでも、
為替相場自体が変動してしまいますので、持ち続けることは資産になりません。

仮に1万ドルをあなたが買い、毎日スワップ金利として10円ずつ金利がもらえても、
(10円×365=3650円)銀行よりはかなり高率な金利が増えるだけであって、
あなたもたぶんご存知のように、2012年12月1日現在は、1ドルは77円台です。

100万円で1万ドルを買ったあなたは、銀行よりも高率な金利と引き換えに、
22万円以上の実際は損をすることになってしまいます。

また、**スワップ金利はマイナスの金利がつく場合もあります**ので注意して下さい。

ですので、現実の為替相場では、ほぼ全てのトレーダーたちは、
スワップ金利を無視して、さらに、先に例にあげたように10円もの値動きも待つことなく
数円どころか、数銭とか数十銭という値動きで、頻繁に売り買いを繰り返して、
利益を上げたり、損失を出したりしています。

これは考えてみれば当たり前のことですね。
1万ドルの取引をしているわけですから、わずかに1銭動くだけでも100円儲かります。

10銭動けば、1000円儲かります。(逆に動いてしまったら損になります)

あなたが実際に、100万円を使って1000円だけの儲けを狙うのは、非常に効率の悪い話になりますが、あなたの資金は5万円ですから、5万円の資金で1000円の儲けならば、まあまあなのではないですか？

このように必ず、頻繁に売り買いを行うのが為替相場というものです。

もちろん、一部例外の方法を取っている方もいることはいます。何年か前に4億円の脱税で話題になった主婦は「スワップ金利で増やす」という方法も一時的には取っていたそうなので、その場合は、長期にわたって、放置状態だったはずですし、「含み損」を抱えてしまって、長期間放置せざるをえなくなっている人もいます。(「含み損」というものの説明は後ほど致します)

ですが、圧倒的多数と言うか、ほとんどのFXトレーダーは頻繁に売り買いを繰り返します。

それが為替相場というものだと思って下さい。このマニュアルでも、スワップ金利で儲ける方法は伝えておりませんが、頻繁に売り買いをすることで儲けて頂きます。

ですので、ここまでの話では、次の1点だけ理解しておいて下さい。

・ **為替相場では、24時間、常に頻繁に売り買いがなされている市場である。**

但し、土曜日・日曜日は市場が休みのため動いてはいません。また、祝日などは売買があまり頻繁になされなかったり、USD/円以外の通貨ペアでは、売買の頻度が低い場合もあります。

2. 為替相場において普遍的に変らないこととは？

いよいよ、核心部分に触れていきますが、
では、変動相場制の現在、為替市場において、

そもそも、何故、為替は頻繁に時々刻々と変化をするのでしょうか？

これは、需要と供給のバランスと同じメカニズムです。
一般の商品の価格変動と似たようなところもあります。

為替相場に関しては、一般の商品のように商品原価がありませんが、
国が変われば経済状況も物価も変わりますので、
日本では100円で買える物は、アメリカでも100円で買えるようにバランスを取るのが、
変動相場制のもともとの目的でした。

たとえば、マクドナルドの100円のハンバーガーが、アメリカでは1ドルだとしたら、
1ドル = 100円が適正な為替相場というような感覚です。

1ドル = 50円になってしまえば、アメリカに行けばハンバーガーが1つ50円です。
逆に、アメリカの方が日本に来たら、アメリカの倍の2ドルも必要になりますね。

1ドル = 200円になったとしたら、逆のことが起こります。
アメリカに行けば高くなり、日本に来たら安くなる。

ですので、このようなことが起こらないようにバランスを取るのが、
もともとの変動相場制の為替相場の狙いでした。

つまり、USドル(アメリカ合衆国のドル)と日本円を考える際には、
日米の経済状況の差や物価の差などが考慮されて相場が決まるのが基本です。

ところが、そのような観点から言えば、
現在のUSD/円相場は、90円台くらいが適正なようですが、(本当の所は知りません)
あなたもご存知かと思いますが、2011年、
史上最高の円高を記録して、一時75円台まで円高になりました。

この原因は、トレーダーたちの利益獲得のための売買によるものです。
利益獲得のためにUSD売り、日本円買いを過剰にしたからです。

USDと日本円の為替相場での値動きとは、
わかりやすく言えば、多くのトレーダーが、USDを売ったり、日本円を買ったりすれば、
その分、USDの価値が下がり、日本円の価値が上がるので、円高になります。

逆に多くのトレーダーが、USDを買ったり、日本円を売ったりすれば、
その分、USDの価値が上がり、日本円の価値が下がるので、円安になります。

ですので、上記2つのどちらが優勢なのかによって、今現在を基点としたら、
次の為替の金額が決まるわけです。

これには、いろいろな要因が複合的に絡んできますので、素人に予測は無理です。
と言うか、プロでも予測は困難です。プロでも不可能と言ってもいいかもしれません。

10秒先に為替が上がるか下がるかなんぞ、誰にも正確に予測はできません。

1分後がどうなるか？10分後は？1時間後は？
そんなことは誰にも正確にわかりません。

後からになって、チャートと呼ばれる値動きのグラフのようなものを見たときに、
そのような値動きになった理由は、プロの方々にはわかるらしいですが、

あなたにそのプロのような知識や分析力、情報収集力を求めるのは無理がありますし、それがあつたとしても、後から理由がわかつたところで、

それこそ、文字通り「後の祭り」ですね。

ですので、プロトレーダーたちは、自分達の持つ情報を知識や経験も含めてフル動因して、少し先を予測して、売りまたは買い注文を出しますが、

予測に反して損失が発生するほうに為替が動けば、さっさと損失を確定させます。

非常に少ない損失の段階で既に損失を確定させてしまいます。

その後、「たぶん、この先また値動きが変わって、利益が出るほうに動くかも？」という素人のようなことは考えないそうです。損失を確定させる割合も決めてあるそうです。

そうして、予測通りに利益が発生するほうに為替が動けば、出来るだけ利益をあげて、その上で、利益を確定させます。

これが、世に言う「儲けるときは大きく、損をするときは小さく」なのですが、素人にこの真似は出来ません！

プロローグの繰り返しになりますが、この鉄則は、あくまでも詭弁です。

プロトレーダーは実行しているかもしれませんが、素人には不可能です。

その証拠(素人には不可能だという証拠)を確率論で、考えてみましょうか？

為替での儲けを考えるにあたり、結局のところ、考えるべきは、

第1章でおわかりのとおり、次に為替相場は、「上がる」か「下がるか」を予測するだけ。

つまり、2つに1つですので、一切知識も考えもなしに丁半博打のように決めても、確率は50%ということになります。

ですが、FX(為替)の場合は、丁半博打のように運だけではなく、様々な読みが出来ますので、通常この確率は50%よりもはるかに高いものになるはずですが、

ですが、この時点で、既に重大な計算ミス(重大な誤解)を犯しているのです！

様々な情報やノウハウがあれば、「確率が50%よりもはるかに高いものになるはず。」というのは、実は、大きな間違いで、実際には、ほとんどの方の確率は、

50%よりも、はるかに低い確率になっているのです！

何故、適当に上がるか下がるか当てるだけでも50%の確率のはずが、情報やノウハウを駆使して逆に50%以下になるのかということはこれから説明するとしても

当たる確率が50%よりも低い丁半博打で勝てるわけがありませんね？

当たる確率が50%よりもはるかに低い二択では、当てるのは非常に困難であり、損をするのが当たり前だということは説明をするまでもないでしょう。

では、何故50%よりもはるかに低い確率の勝負を多くのFXトレーダーがしてしまうのか？そのメカニズムを説明致します。

まず、以下のチャートをご覧ください。チャートとは為替の値動きを表したグラフで、

以下のチャートは5分足チャートと呼ばれるものです。

5分ごとに、棒状のグラフが分かれています。



このような過去のチャートを見たときには、いつ買えば(あるいは売れば)良いのか？

そうして、いつ売り決済(あるいは買い決済)をすれば良いのか？

それは一目瞭然ですが、

実際は、これからどう動くかわからない状況で、トレードをしますので、



仮にAの地点で、あなたがこれから上がるだろう(円安になるだろう)と予測して、買い注文を入れたとしましょう。

この時点での当たる確率は、たしかに50%よりも高いものになります。

ですが、あなたは、いつ売り決済をしますか？

問題は、ここにあるのです。

たしかに、Aの地点での予想通り、その後に上がっています。

結果だけ見るならば、Dのところで売るのが一番良いですね。

ですが、これはあくまで結果を後からこうして振り返ってみて言えることです。

A地点で買いの注文を入れたあなたは、Bの地点に来たときには、どうしていたでしょう？

「鉄則」では、「損をするときは小さく」でしたね？では、ここで売ってしまいますか？

この時点では、確実に損失になっていますので、鉄則で言えば売るべきところですが、

結果だけから見れば、「もう少し待てば」、Cの地点では利益が出ていますね。

さらに、待てば、D地点ならば、さらに利益が出ています。

「鉄則」で言う「儲けるときは大きく」と言うならば、ここまで(最低でもCまで)待つのですか？



ですが、Dのタイミングを逃すと、E地点ではまた損失が出ています。

その後は、待っていれば、あなたが買ったA地点よりは利益が出ているときがありますが、CやDのようになるのを待っていても、逆に損失が出るほうに動いていますね？

結果としてみたら一目瞭然のこのチャートというグラフも、リアルタイムには先のことはまったくわかりませんので、あなたは随時判断をする必要が出てしまうわけです。

Bまでに何回の「上がるか下がるか」の判断が必要なのでしょう？

1つの足に対して1回しか判断をしていなかったとしても、Bまでで3回は、上がるか下がるかの予想をしています。

仮にあなたの予測が当たる確率が80%と、50%よりもはるかに高いとしても、3回の予測を繰り返せば、確率は80%の3乗、つまり、 $0.8 \times 0.8 \times 0.8$ ですね？
答えは、0.512、つまり51.2%まで確率が落ちていきます。

どうですか？たったの3回の予測を繰り返すだけで、80%だったはずの、

あなたの予測中の確率は50%程度になってしまうわけです。

現実問題としては、Bの地点までに3回の判断だけで終わっていないと思います。

Bの地点があるローソク足になった時点で上がるか下がるかの予測があったはずですし、Bの地点に近づいていくときに、売ってしまうか保持するか判断があったと思いますし、もし、B地点までに5回の判断をすれば、

的中率80%を誇るあなたの判断も、0.8の5乗、つまり、**32.768%にまで落ちます。**



ましてや、長くやっていると、予測が外れたと思っても、すぐに反転して、結果として「予測どおり」(と言うのが微妙ですが)になることもありそれがまた後々の判断を曇らせます

実際、B地点で「予測が外れたか?」と思えたレートは、反転してC地点まで上がっていますさらには、C地点よりもさらに上のD地点のときまでありますね?

このような経験をしてしまっただけは、ますますB地点で、「損をするときは小さく」などと思えず、保持することで(待つことで)、事態が好転するのを待つ癖までついたりします。

Eの地点では、再び、A地点から見たら損失を出していますが、待っていたら再び、上がって行って、CやD地点とまではいかなくとも、

A地点で買っていることを考えたら、利益がでています。

ですが、結果として表示されているチャートをご覧になれば、お分かりのとおり、CやDのところまで再び上がってくれることを期待していたとしたら、そのようなことは起こらず、結果、レートはどんどん下がって損をしていってしまいますね？

結局、あなたの予測が当たる確率が80%であろうと90%であろうと、**数回の判断を繰り返せば、確率はぐんぐんと下がってしまうわけです。**
(90%の5乗は約59%、7乗では48%以下になります)

このように確率論で、ロジカルに考えてみても、儲けるときは大きく、そうして、損をするときは小さくという当たり前のことが、如何に理にかなっていないか、そして、如何に確率の低い勝負をしているか、ご理解頂けますね。

そんなことをさせておいて、メンタルが弱いとか、鉄則を守っていないとか、欲張りすぎだとか、言うほうがどうかしています。

矛盾もはなはだしい。

巷には、これから上がりそうときには買いサインが出たり、下がりそうときには売りサインが出たりするようなツールもありますが、その当たる確率も70%とか80%だとか。要するに利益確定の決済や損失確定までのサインを出さずに、最初だけサインを出したところで、同様の計算から、儲かるはずはありません。

素人に裁量の余地を残せば、このように、ほぼ間違いなく、確率50%よりもずっと低い確率での勝負となります。

裁量とは、自己判断のことですが、肝心な部分は自己判断をさせて、
確率が50%よりも激減することもわかっていながら、
(中にはそれも気づかずに先生面(づら)をしている先生も結構多くいますが)
メンタルだの、なんだのと言いつては話になりません。

ですので、FX風林火山においては、あなたの裁量にゆだねる部分は、
ほとんどありません。

若干残る裁量の部分も、(自己判断の部分も)、確率を上げるための裁量です。
(これに関しては後述しますので、ご理解頂けると幸いです)

ここでも、おわかりのように、通常のマニュアルに書かれているFXの常識や、
ノウハウ、マインド論などについては、さしあたり邪魔ですので、
くどいようですが、捨てて下さい。

それよりも、FX風林火山の方法である、
為替相場の普遍性を利用した方法で、限りなく100%に近い確率で勝てる方法を、
あなたは選択して下さい。

では、為替相場の普遍性を利用した方法とは何か？
それ以前に、普遍性とは何かについて説明をしますと、

確率論の話と、為替市場では、頻繁に売買が行われるということを思い出して下さい。
為替市場において、時々刻々と、常に頻繁に売買が行われているということは、
売買によって需要と供給のように値が決まる為替市場では、頻繁に値が変わります。

非常に頻繁に売買(取引)が行われるからこそ、頻繁に値動きが発生します。

この事実に関しては、FXというものをやったことのない人にはイメージしにくいかもしれませ

んが、FXの経験者であれば、既に当たり前のように体験していますね。

仮にあなたが78円012(このようにFXでは、円以下3桁まで表示されます)で、1万ドル買ったとしましょう。そうして、78円162になったときに、15銭分儲けて、1万ドルを売ることを予定したとしましょうか。

78円012とは、78円1銭2厘のことです

ですので、78円162(78円16銭2厘)になれば、丁度15銭分儲かります

このときに、あなたが78円162あたりまで上がる(円安になる)だろうと予測したときに、78円162まで一気に上昇してくれれば、何の問題もないのですが、実際の為替相場では、そういう訳にはいきません。

先ほどお見せしたチャートは、5分足チャートと言って、5分間の値動きを、1つの棒グラフのようにして表していますが、実際は、秒単位で、上下動を繰り返してあのような結果となっています。

ですので、仮に最終的に78円162になるまで上がる(円安になる)としても、その値動きは、たとえば、78円028のように、思い通り上がりだしたかと思うと、一旦、78円014のように下がって、また上がって……というように、微妙な上下の動きをしながら、78円162に至ります。

ここが、多くの素人FXトレーダーの悩むところですね。

78円11銭くらいになったときに、ここで既に10銭儲けていますので、欲張らずに、78円162は、あきらめて決済しようかと思っているときに、78円106、78円098、78円094のように下がり始めると、利益が出ている今のうちに売ってしまったほうが良いかな？と、売ってしまう人もいますし、78円074と、どんどん下がってから売る人もいますし、その後また上がりだして、上下動を繰り返しながらも、78円162になったときに、

途中で売ってしまった人は後悔したりもするわけですね。

あるいは、途中で一気に勢いがついて、78円254まで上昇したとしたら、せめて78円20銭台で売りたいとか、さらなる欲が出てきます。

それはそうでしょう。それが人間心理ですし、「儲けるときは大きく」という「鉄則」通りですからね。(笑)

ですが、このような値動きをしたとしても、それはあくまでも結果論であって、途中の段階ではどこまでどうなるかわかりはしません。

ですので、結果として、早く売りすぎてしまう人がいても、あるいは、運良くたくさん儲けることが出来た人がいたとしても、それは単に運が良かったり悪かったりするだけと思って下さい。

そのような考えをしている時点で、投資というよりも、ギャンブルみたいなものです。

世の中でFXの『投資』をしている人のほとんどが上記のような考え方や心理状態で、FXのトレード(取引)をしています。

これは、投資なのでしょうか？ **ギャンブルと何が違うのでしょうか？**

私には、その違いがわかりません。ギャンブルをやっているようにしか見えません。

買ったUSドルが、どこまで上がるか(円安になるか)、なんてことはわかりやしません。売ったUSドルが、どこまで下がるか(円高になるか)、なんてことはわかりません。

要するに、運が良ければ、たくさん儲けたり、損失を少なくしたり出来るし、運が悪ければ、少ししか儲けられなかったり、損失を大きくしてしまったりする。

つまり、運任せのギャンブルに等しいと思います。

だからこそ、私は、そのようなFXは向かないと思い、2004年の頃には撤退しました。

ところが、私のFXの師匠である小出万吉氏の方法は、
そのような運任せの方法ではなく、為替市場の普遍性を利用した、
非常に理にかなった方法だったので、FXを再開しましたし、
実際に、その方法で儲けることができました。

では、為替市場における普遍性とは何か、おわかりになりましたか？

今までの話の中で既に、

その普遍的なことについては話をしていますが、お気づきになりましたか？

それは、

ということです。**これが普遍性です**。あたりまえのことです。

大変申し訳ございませんが、

マニュアルの内容の公開は、ここまでとします。この後は核心部分を含みますので。

また、上記の普遍性についての一文を見せていませんが、ご容赦下さい。

FX風林火山

<http://kigyou.fxkiso.com/>